

# 第3回 デジタルデザインフォーラム 2011

デジタルとアナログの間 — 人に寄り添うデザインの未来像 —

東日本大震災の復旧、復興の過程で人間の持つ五感や意思の力が注目されています。今回のフォーラムは、「デジタル技術」と人間の持っている創造力、表現力、ワザといった「アナログ技術」との間に橋をかけることを意図した、デザインの未来を探るフォーラムです。

- 1部 基調講演** テーマ説明 **大西 宏志** 氏 DAS会員 デジタルデザインフォーラム実行委員会 副委員長  
レクチャー1 **今井 喜代貴** 氏 ダイハツ工業 デザイン部長  
レクチャー2 **沖浦 啓之** 氏 映画監督  
レクチャー3 **稲賀 繁美** 氏 国際日本文化研究センター教授 比較文化史・文化交渉史

- 2部 パネルディスカッション** パネラー：大西 宏志 氏 今井 喜代貴 氏 沖浦 啓之 氏 稲賀 繁美 氏  
コーディネーター：相原洋氏 毎日新聞社 学芸部長



開催日時 2011年12月3日(土) 13:30(開場13:00)・終了予定17:00

場 所：電通関西支社 12階 大ホール 大阪市北区堂島2-4-5 **入場無料**

募集人数：250名 (定員になり次第締め切ります)

申し込み方法：FAX、ハガキ、メール

\*参加希望の方は、住所、郵便番号、氏名、年齢、携帯番号、メールアドレスを明記の上「デザインフォーラム参加希望」と書いて以下までお申し込みください。(複数で参加の場合は参加人数と参加者の住所・氏名・連絡先を明記してください。)  
これら個人情報に関しましては、当フォーラムにおいてのみ使用するものです。

お問い合わせ  
お申し込み先

社団法人 総合デザイナー協会 (DAS)  
〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル内  
TEL:06-6346-8695 (土日祝除く10:00~18:00) FAX:06-6346-8696  
Email: das@das.or.jp ホームページ: www.das.or.jp

主催：総合デザイナー協会(DAS)・毎日新聞社  
後援：大阪府・大阪市(予定)

# 第3回 デジタルデザインフォーラム 2011

デジタルとアナログの間 — 人に寄り添うデザインの未来像 —



## 今井 喜代貴 (いまい きよたか)

1956年大阪府生まれ。

1980年4月ダイハツ工業株式会社入社。

カーデザインを10年経験した後1990年内装デザインへ移籍。

YRV、テリオス、プロボックスなどの内装デザインを手がけた。

2002年トヨタ自動車(株)へ1年半の出向を経験。

復帰後デザイン企画室室長として先行企画のマネジメントを推進する。

2008年からデザイン部部长。



## 沖浦 啓之 (おきうら ひろゆき)

1966年大阪府生まれ。

1982年作画スタジオ 有限会社アニメアールに入社。

1984年TVシリーズ『星銃士ビスマルク』で初作画監督

映画『AKIRA』『ピーターパンの冒険』『老人Z』等の原画を勤め、1991年に上京。

1992年映画『走れメロス』でキャラクターデザイン・作画監督・絵コンテを担当。

1995年には映画『GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊』でキャラクターデザイン

作画監督を経て初監督となる映画『人狼 JIN-ROH』を2000年に発表。

ポルト国際映画祭1999での最優秀アニメーション賞・審査員特別大賞受賞をはじめ、他映画祭でも各賞を受賞。

翌年には『COW BOY BEBOP 天国の扉』でオープニングの絵コンテ・演出・原画で参加。

2004年に映画『イノセンス』でキャラクターデザイン・作画監督・原画を担当し、

その後、今作『ももへの手紙』へ着手。監督作品としては2作目となる。



## 稲賀 繁美 (いなが しげみ)

国際日本文化研究センター教授。

比較文化史・文化交渉史。

東京大学教養学部フランス分科卒業の後、パリ第7大学に学ぶ。

ジャポニズム、オリエンタリズムの面から東西比較美術史を研究。

文学、歴史についても該博な知識をもつ。

和辻哲郎文化賞一般部門、サントリー学芸賞など受賞多数。

## 会場

大阪市北区堂島2-4-5

電通関西支社 12階 大ホール

## 会場アクセス

JR「大阪駅」から徒歩11分。

JR「北新地駅」から徒歩7分。

京阪中之島線「渡辺橋駅」から徒歩4分。

地下鉄四つ橋線「西梅田駅」から徒歩6分。

